

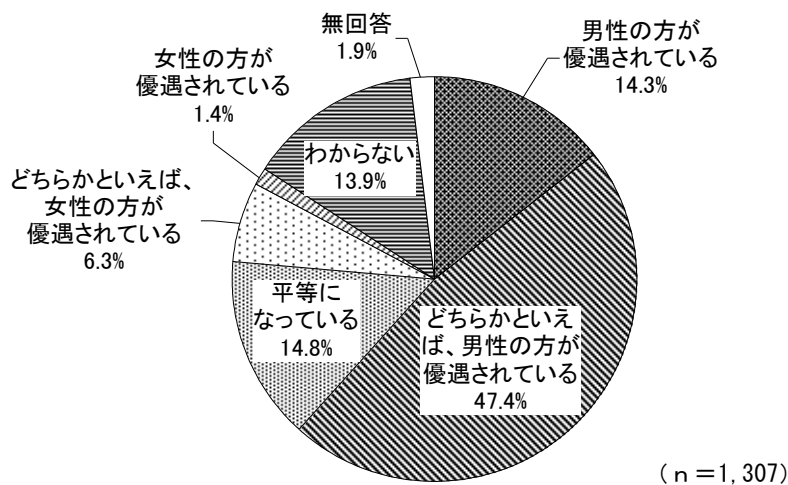
8 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

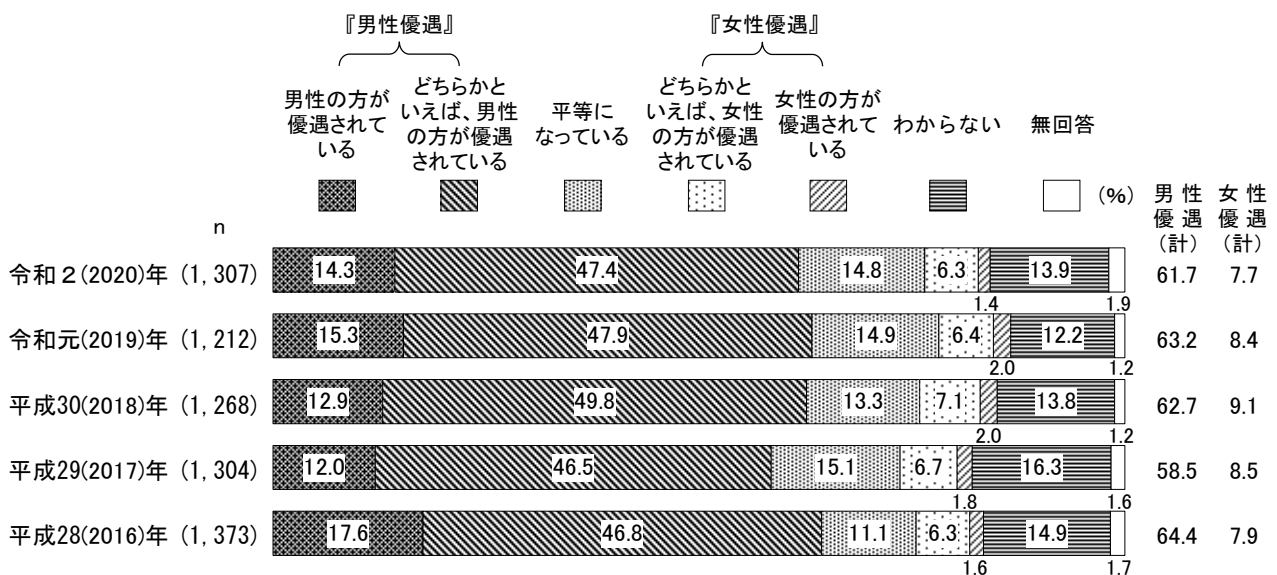
問20 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,307]

1	男性の方が優遇されている	14.3%	5	女性の方が優遇されている	1.4%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	47.4	6	わからない	13.9
3	平等になっている	14.8		(無回答)	1.9
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	6.3			

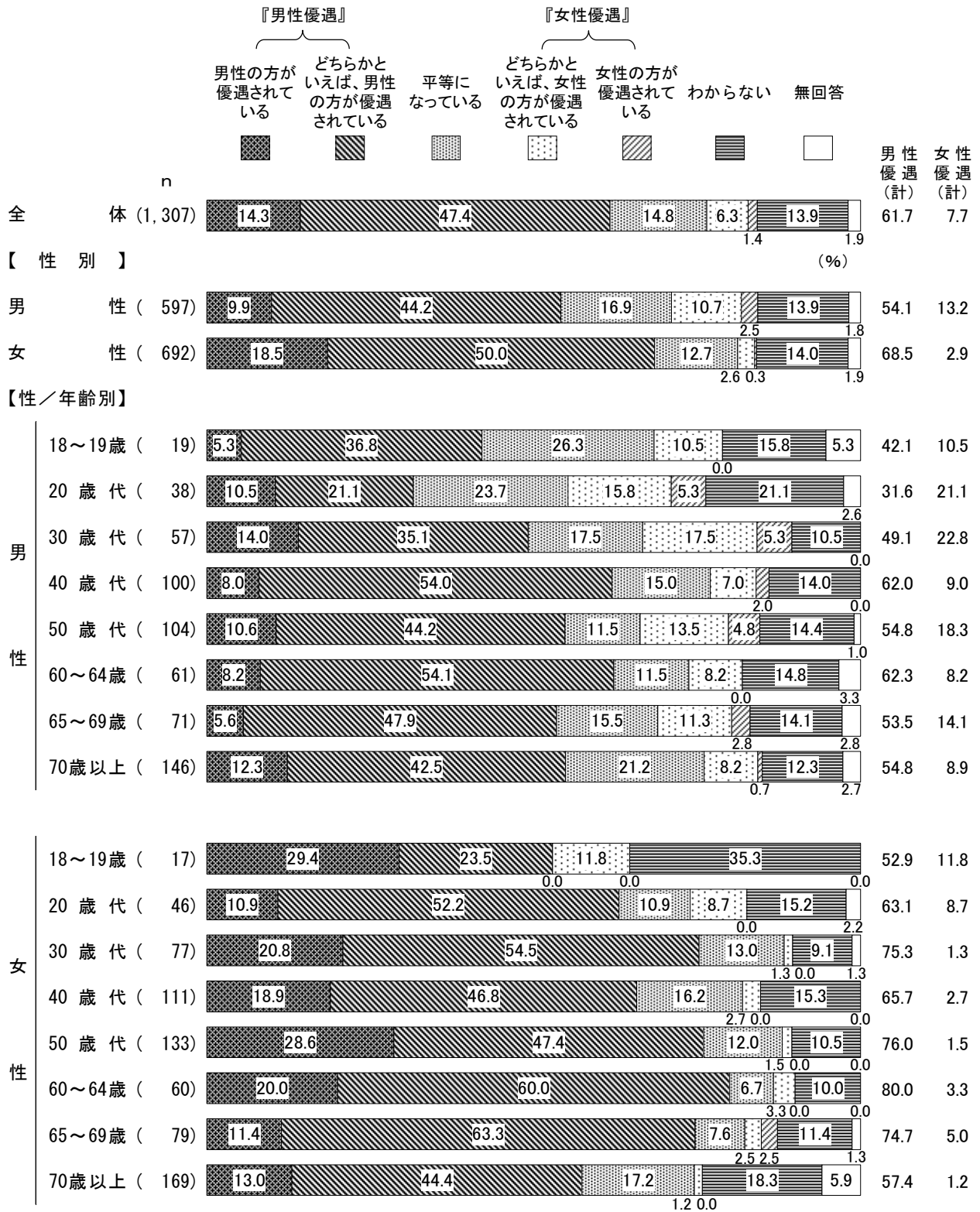


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(14.3%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(47.4%)の2つを合わせた『男性優遇』(61.7%)が6割を超えて高くなっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(6.3%)と「女性の方が優遇されている」(1.4%)の2つを合わせた『女性優遇』(7.7%)が1割近くとなっている。また、「平等になっている」(14.8%)が1割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、令和元(2019)年と大きな傾向の違いはみられない。

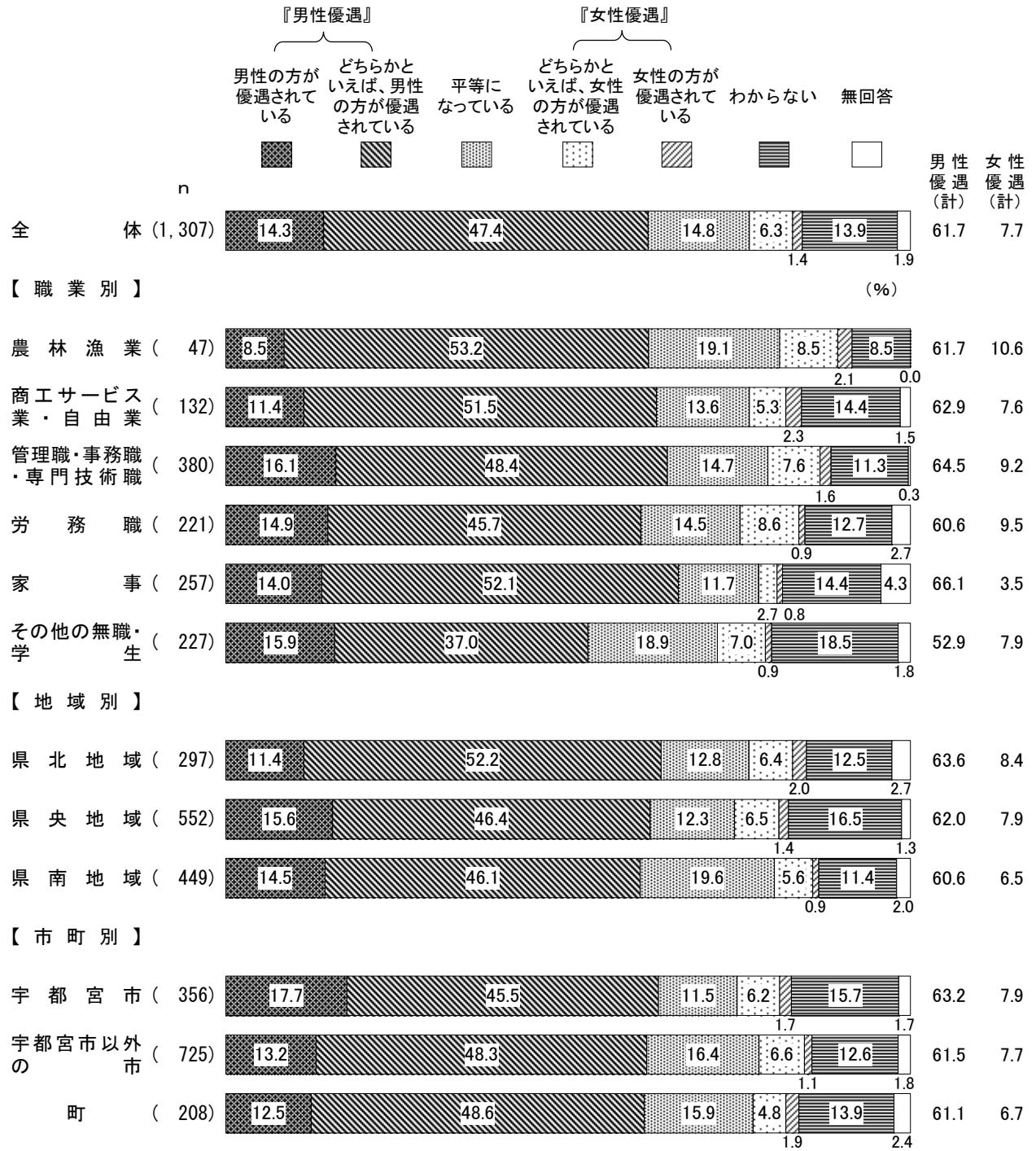
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(68.5%)が〈男性〉(54.1%)より14.4ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(13.2%)が〈女性〉(2.9%)より10.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性60～64歳〉が80.0%、〈女性50歳代〉が76.0%、〈女性30歳代〉が75.3%、〈女性65～69歳〉が74.7%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性30歳代〉が22.8%、〈男性20歳代〉が21.1%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『男性優遇』では〈家事〉が66.1%と高くなっている。

地域別でみると、「平等になっている」では〈県南地域〉が19.6%となっている。

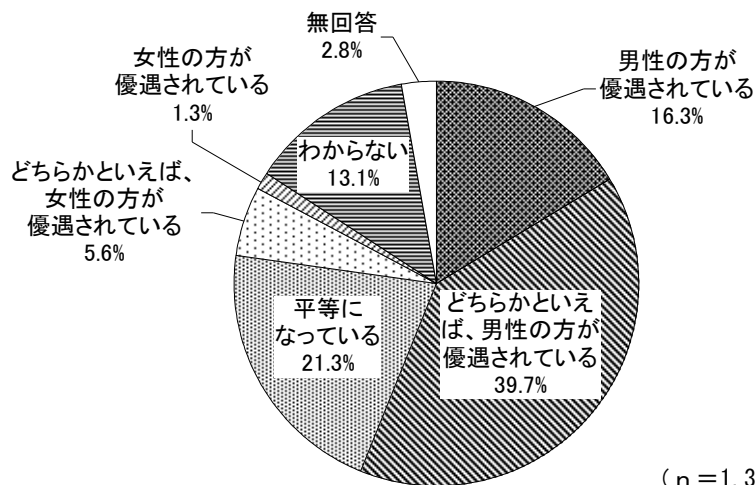
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 働く場での男女の地位の平等感

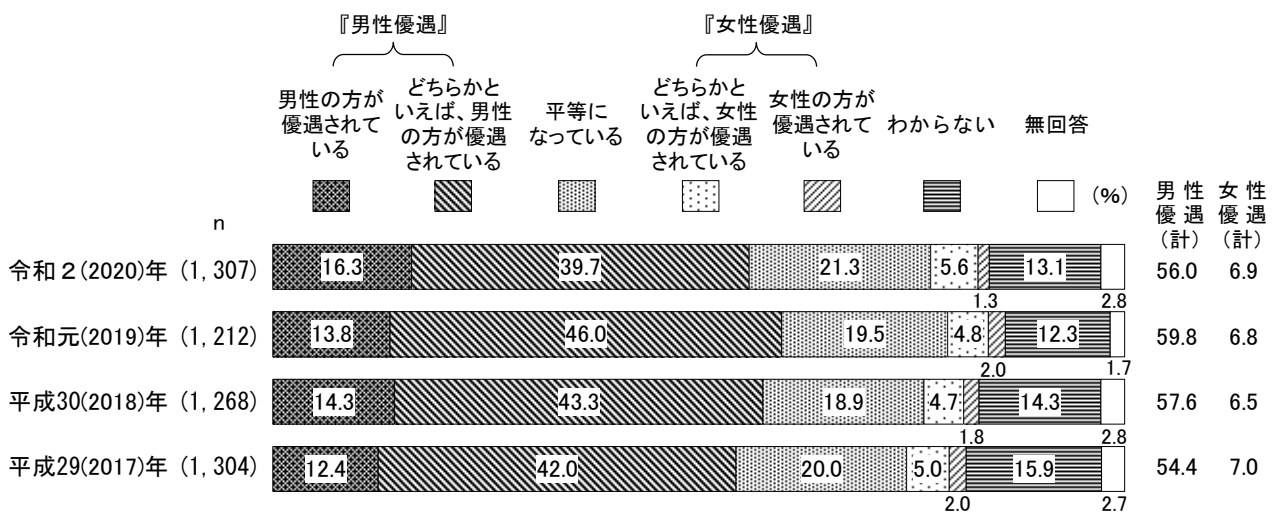
問21 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

[n=1,307]

1	男性の方が優遇されている	16.3%	5	女性の方が優遇されている	1.3%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	39.7	6	わからない	13.1
3	平等になっている	21.3	(無回答)		2.8
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	5.6			

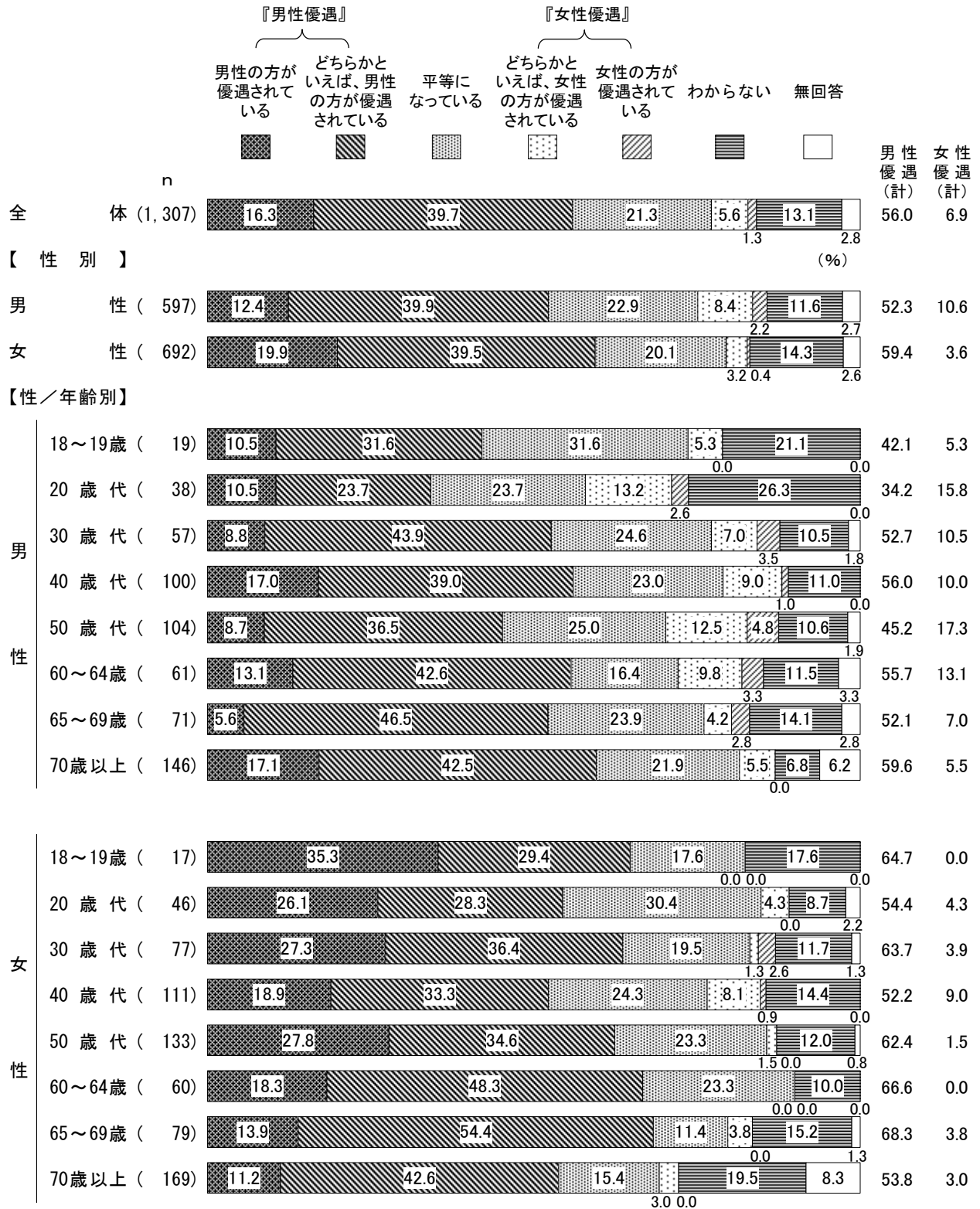


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(16.3%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(39.7%)の2つを合わせた『男性優遇』(56.0%)が5割半ばと高くなっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(5.6%)と「女性の方が優遇されている」(1.3%)の2つを合わせた『女性優遇』(6.9%)が1割近くとなっている。また、「平等になっている」(21.3%)が2割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が令和元(2019)年より3.8ポイント減少している。

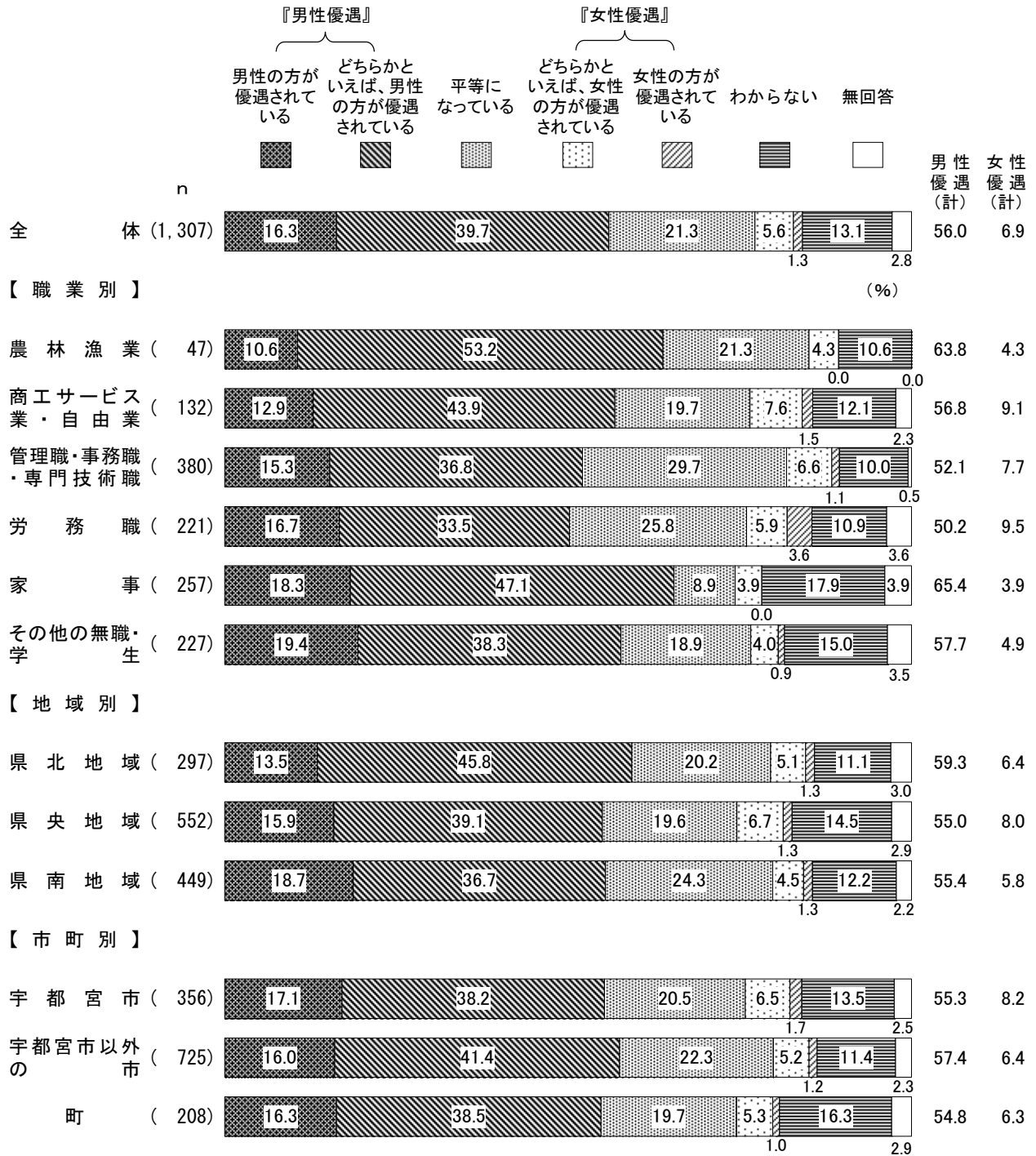
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(59.4%)が〈男性〉(52.3%)より7.1ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(10.6%)が〈女性〉(3.6%)より7.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性65～69歳〉が68.3%、〈女性60～64歳〉が66.6%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性50歳代〉が17.3%となっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『男性優遇』では〈家事〉が65.4%と高くなっている。「平等になっている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.7%と高くなっている。

地域別で見ると、『男性優遇』では〈県北地域〉が59.3%と高くなっている。

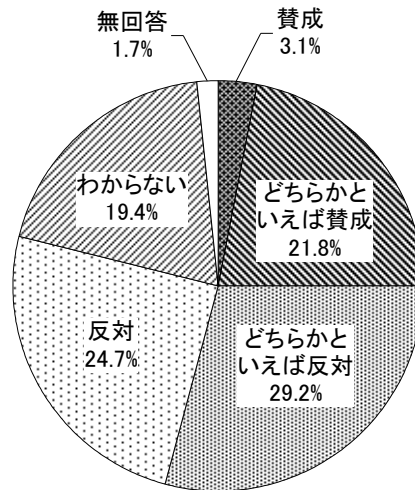
市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 固定的な性別役割分担意識

問22 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように
 思いますか。次の中から1つ選んでください。

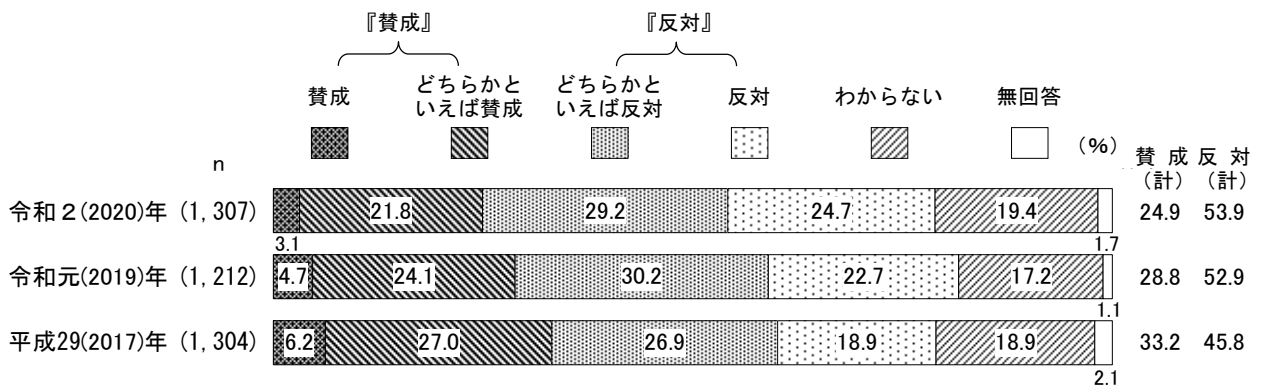
[n=1,307]

1 賛成	3.1%	4 反対	24.7%
2 どちらかといえば賛成	21.8%	5 わからない	19.4%
3 どちらかといえば反対	29.2%	(無回答)	1.7%



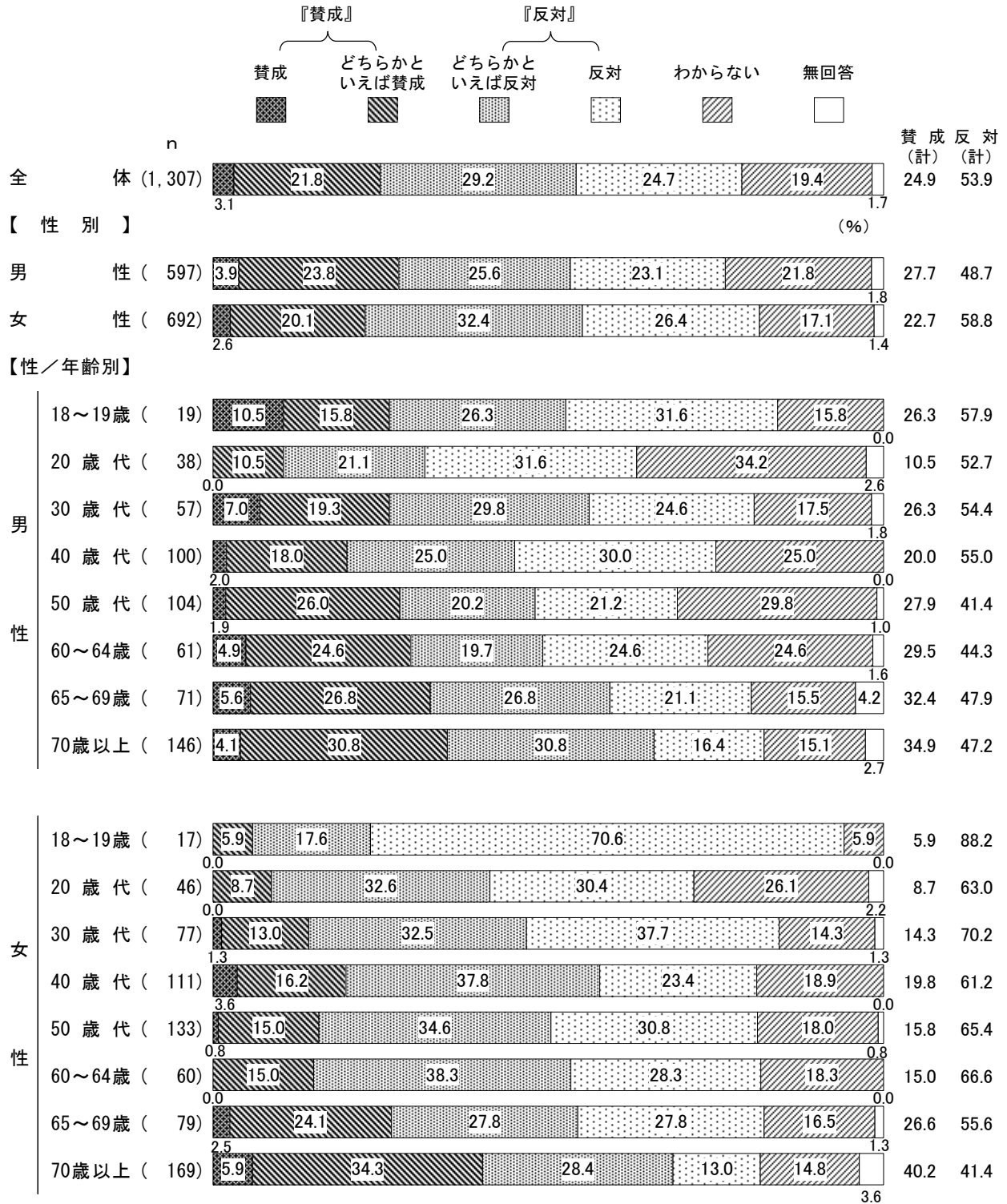
(n=1,307)

全体でみると、「賛成」(3.1%)と「どちらかといえば賛成」(21.8%)の2つを合わせた『賛成』(24.9%)が2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば反対」(29.2%)と「反対」(24.7%)の2つを合わせた『反対』(53.9%)が5割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『賛成』が令和元(2019)年より3.9ポイント減少している。

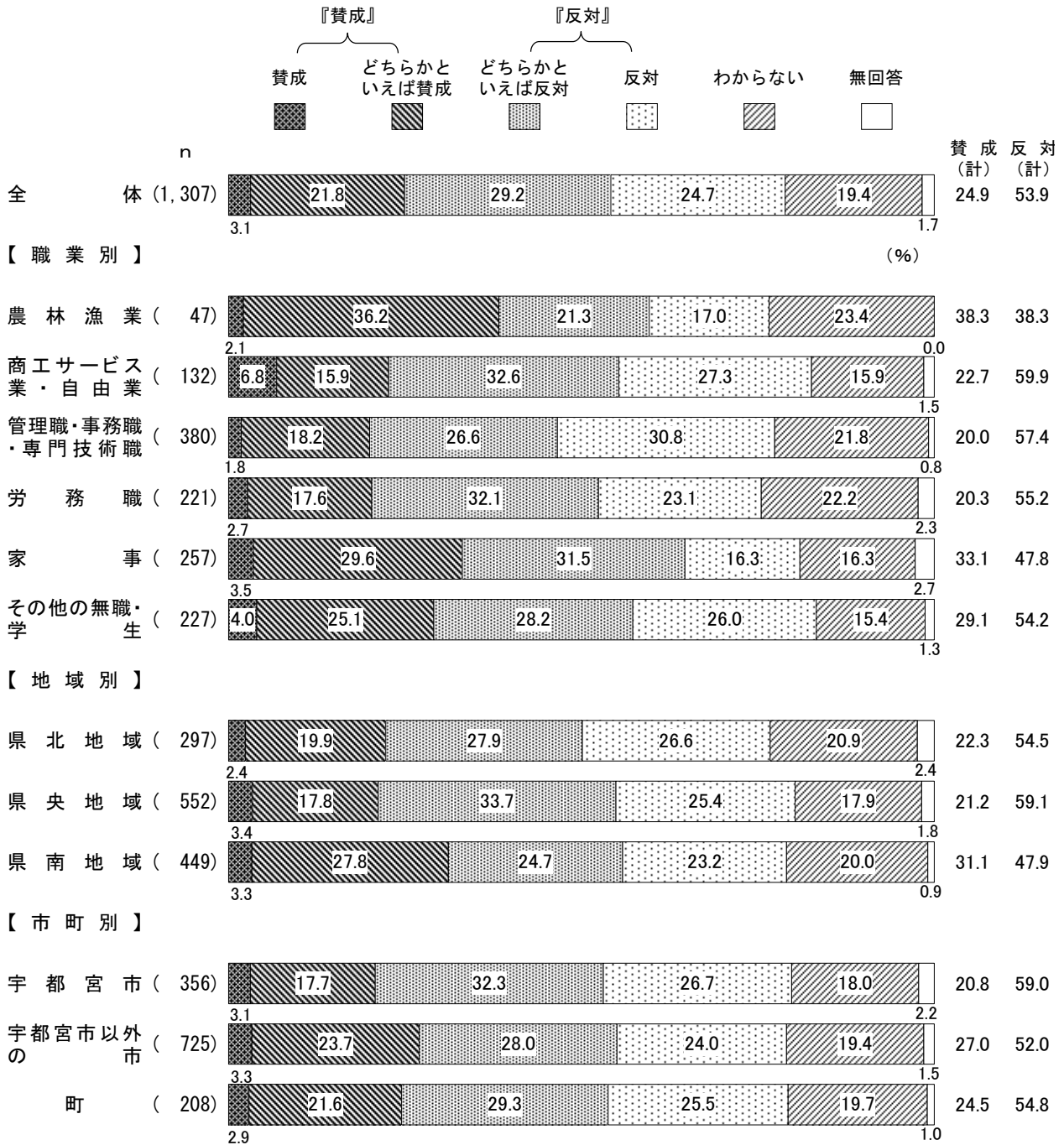
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『賛成』では〈男性〉(27.7%)が〈女性〉(22.7%)より5.0ポイント高くなっている。一方、『反対』では〈女性〉(58.8%)が〈男性〉(48.7%)より10.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『賛成』では〈女性70歳以上〉が40.2%、〈男性70歳以上〉が34.9%と高くなっている。一方、『反対』では〈女性30歳代〉が70.2%、〈女性60~64歳〉が66.6%、〈女性50歳代〉が65.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『賛成』では〈農林漁業〉が38.3%、〈家事〉が33.1%と高くなっている。

地域別で見ると、『賛成』では〈県南地域〉が31.1%と高くなっている。一方、『反対』では〈県央地域〉が59.1%と高くなっている。

市町別で見ると、『反対』では〈宇都宮市〉が59.0%と高くなっている。